



「揖斐川右岸堤防の早期整備必要！」
期成同盟会が木曽川上流河川事務所へ要望書

木曽川上流河川事務所・上野副所長（左）に要望書を手渡す大石和合連合自治会長（右）

- 揖斐川沿川の大垣市内19自治会で組織する揖斐川右岸堤整備促進期成同盟会（会長：大石和合連合自治会長）は5月15日（木）、国土交通省木曽川上流河川事務所に対して要望活動を行いました。小川敏・大垣市長らが立ち会う中、大石会長は、同日、期成同盟会で決議した要望書を木曽川上流河川事務所の上野副所長に手渡しました。

挨拶に立った大石会長は、「近年、局地的集中豪雨が増加傾向にあり、昨年9月には時間雨量108mmの記録的大雨を経験し、住民はいつ襲われるかわからない水害に対して増水のたびに不安を募らせており、揖斐川右岸堤防の護岸整備が早期に必要！—と訴えました。合わせて、流水の阻害となっている河川内に生い茂る樹木の伐採や、流下断面を拡大させる河道掘削の早期実施も求めました。

上野副所長は早期整備の必要性を認めながら、「揖斐川中流部の堤防整備は、ここ1、2年で飛躍的に進んだ。皆さんの要望を踏まえ、今後も計画的に整備を進め、地域の安全・安心の確保に努めてまいります」と述べました。

